

リベラルアーツ a(英米文学)

【単位数:0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

小川恭佑 助教(外国語)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c)

- ① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるために、文学作品に登場する様々な人物の視点や思考を通して学ぶ。
- ② 文学作品に込められた象徴性を理解することで、物事の多面性を学び、幅広い視野を獲得する。
- ③ 文学作品を読むことで、語彙力や、物事や事象の繋がりを理解する読解力を身につける。

(2) 学修目標

- ① 文学作品の物語展開や全体の流れを理解し説明できる。
- ② 登場人物の相関関係を把握し、相関図などを用いて説明できる。
- ③ 登場人物の心情を、セリフや行動、描写の細部に即して読み取ることができる。
- ④ 登場人物の心情を、本文の具体的表現を引用・参照しながら説明できる。
- ⑤ 登場人物の心情の変化を物語全体の構成と関連付けて捉え、作品の主題について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小レポート	○	80%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動の内容を評価する。 【再評価について】 やむを得ない理由で欠席した場合は、再評価の機会がある。 欠席時の対応は科目責任者に必ず問合せすること。
授業内活動	○	20%	授業内で実施するグループワークの参加状況から評価する。
態度	○	—	態度不良の場合は、総合成績から10点を限度に減点をする。

出席： 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小レポートの内容に対して、次回の授業内にフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
AIDLE-Kにて資料配布 (小説の翻訳, 講義資料など)			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
淑やかな悪夢—英米女流怪談集	シンシア・アスキス他	東京創元社	本授業で扱う小説を含め、英米の怪談小説がまとめられた翻訳書であり、怪談に対する広い見識が得られる。
https://www.gutenberg.org/cache/epub/1952/pg1952-images.html			『黄色い壁紙』の原文が掲載されており、翻訳の言い回しや表現で理解し難い点があれば、原文に立ち返ることで、作品内容の理解を深められる。
https://www.gutenberg.org/files/512/512-h/512-h.htm			『ヤング・グッドマン・ブラウン』の原文が掲載されており、翻訳の言い回しや表現で理解し難い点があれば、原文に立ち返ることで、作品内容の理解を深められる。

6 準備学習（予習・復習）

（予習）AIDLE-Kに小説の翻訳をアップロードするので、各講義までに指定箇所を必ず読むこと。

その際、不明な語句があれば適宜調べておくこと（1コマあたり約1時間）。

（復習）授業資料を見て講義内容を復習し、次の授業に臨むこと（1コマあたり約0.5時間）。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコン又はタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者にも必ず連絡を入れること。
- ② 欠席して聞き逃した回の内容は、AIDLE-K上の資料や、友人に確認するなどして学習すること。

7 授業計画

（1） 講義の方法

本講義では英米の短編小説を扱うが、「原文（英語）」ではなく「翻訳書（日本語）」を授業資料として配布し、それを元にして授業を行う。講義形式を基本とするが、適宜、グループ内又は教員との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（2） 講義の内容

19世紀アメリカ文学を代表する短編小説として、怪談小説『黄色い壁紙』とゴシック小説『ヤング・グッドマン・ブラウン』を取り上げ、それらの日本語翻訳を精読し、作品内容の理解を深めていく。各小説解説の初回には、作家紹介及び作品の成立背景・あらすじの説明を行い、その後は物語の展開や作中に描かれている象徴的イメージに着目しながら、文学作品としての特徴や主題を解説する。あわせて、作品理解を補助するため、関連する小説や作家にも適宜触れていく。